

＜平成34年の、契約予定＞

○平成21年度

事業の名称	契約の相手方の名称又は名称
平成21年度農業による陸域生態リスク評価技術開発調査・鳥類行動調査業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度農業による陸域生態リスク評価手法確立調査業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度自然環境下におけるナタネ類等の生育状況調査及び遺伝子分析のための種子等のサンプリング業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度鳥獣保護管理における人材登録制度の運用及び活用事業	財団法人自然環境研究センター
平成21年度カエツボカビ等実態把握調査検討業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度アジア・オセアニア重要サンゴ礁ネットワーク推進業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度絶滅のおそれのある野生動植物種の生息域外保全方策検討業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度外来生物問題調査検討業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度野生鳥獣保護管理情報システム運用事業	財団法人自然環境研究センター
平成21年度関東二ホンシカ広域保護管理指針作成事業	財団法人自然環境研究センター
平成21年度特定鳥獣の生息環境整備に係る保護管理対策モデル事業計画策定調査	財団法人自然環境研究センター
平成21年度生物多様性総合評価実施等業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度ワシントン条約附属書掲載種に関する調査等業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度諸外国における高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)対策実態把握調査	財団法人自然環境研究センター
平成21年度動物愛護管理基本指針フォローアップ等検討調査業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(高山帯調査)	財団法人自然環境研究センター
平成21年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(森林・草原調査)	財団法人自然環境研究センター
平成21年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(沿岸域調査)	財団法人自然環境研究センター
平成21年度海洋生物多様性情報整備及び保全戦略策定業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度自然環境保全基礎調査動物分布調査及び普及啓発冊子作成業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度自然環境保全基礎調査中長期的調査方針検討業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度環境研究・技術開発推進費(クマ類の個体数推定法の開発に関する研究)による研究委託業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度ワシントン条約及びラムサール条約対応調査	財団法人自然環境研究センター
平成21年度野狐鳥獣(カワウ、ウズラ等)のモニタリング手法等検討調査	財団法人自然環境研究センター
平成21年度第39回世界遺産委員会審議支援業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度トギ野生復帰モニタリング調査等業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度絶滅のおそれのある野生動植物種の選定のための調査等委託業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度希少野生動植物の国内流通管理検討調査等業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度サンゴ礁保全行動計画策定業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度小笠原諸島世界自然遺産地域推薦に向けた検討業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度生物多様性国家戦略の作成等に係る基礎調査業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度生物多様性条約実施等推進業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度持続可能な自然資源管理に係る事例調査委託業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度地球規模生物多様性モニタリング推進事業	財団法人自然環境研究センター
平成21年度自然環境保全基礎調査特定哺乳類生息状況調査業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度重要生態系監視地域モニタリング推進業務調査総合推進業務	財団法人自然環境研究センター
平成21年度生物標本購入業務	財団法人自然環境研究センター

○平成22年度

公表事業の名称	契約の相手方の商号又は名称
平成22年度農業による陸域生態リスク評価技術開発調査	(財) 自然環境研究センター
平成22年度地球規模生物多様性モニタリング推進事業推進のための生物多様性条約第14回科学上及び技術上の助言に関する補助機関会 (SABSTTA)での情報収集等業務	(財) 自然環境研究センター
平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (森林・草原調査)	(財) 自然環境研究センター
平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (沿岸域調査)	(財) 自然環境研究センター
平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (高山帯調査)	(財) 自然環境研究センター
平成22年度温暖化影響情報集約型CO2削減行動促進事業	(財) 自然環境研究センター
生物情報収集体制検討委託業務	(財) 自然環境研究センター
平成22年度自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林調査に係る情報収集等業務	(財) 自然環境研究センター
平成22年度自然環境保全基礎調査特定哺乳類生息状況調査及び調査体制構築検討業務	(財) 自然環境研究センター
平成22年度東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ情報整備業務	(財) 自然環境研究センター
平成22年度探検研究総合推進費「クマ類の個体数推定法の開発に関する研究」委託業務	(財) 自然環境研究センター
平成22年度地球規模生物多様性モニタリング推進事業に係る分類学能力構築業務	(財) 自然環境研究センター
平成22年度標準本作製等業務	(財) 自然環境研究センター

○平成23年度

公表事業の名称	契約の相手方の商号又は名称
平成23年度環境研究総合推進費「クマ類の個体数推定法の開発に関する研究」による研究委託業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度農業による陸域生態リスク評価技術開発調査業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度自然環境下におけるナタネ類等の生育状況調査及び遺伝子分析のための種子等のサンプリング業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度絶滅のおそれのある野生動植物種の生息域外保全方策検討業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度ワシントン条約及びラムサール条約対応調査等業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度外来生物問題調査検討業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度両生類の新規感染症実態調査業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る都道府県鳥獣行政担当局部等の対応技術マニユアル改訂業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度野生鳥獣保護管理情報システム運用事業	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度絶滅のおそれのある野生生物の保全状況調査業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度狩猟鳥獣 (ウズラ、ヤマシギ等) のモニタリング手法等検討調査	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度鳥獣保護管理における人材育成 (研修) 業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度鳥獣保護管理における人材登録事業の運用及び活用並びに人材確保のための方策検討業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度野生鳥獣の感染症に係る情報収集及び対応方針等検討・調査業務	財団法人 自然環境研究センター
平成23年度第35回世界遺産委員会審議支援業務	(財) 自然環境研究センター
平成23年度生物多様性評価の地区化に関する検討調査業務	(財) 自然環境研究センター
平成23年度生物多様性国家戦略の見直し検討調査業務	(財) 自然環境研究センター
平成23年度アジア・オセアニア重要サンゴ礁ネットワーク推進業務	(財) 自然環境研究センター

平成23年度重要海域抽出及び海洋保護区ネットワーク推進業務	(財) 自然環境研究センター
平成23年度サンゴ礁生態系保全行動計画の推進に関する委託業務	(財) 自然環境研究センター
平成23年度国立公園等ニホンジカ生息状況調査業務	(財) 自然環境研究センター
平成23年度野生動物資源管理・利用データベース試験運用及び関連情報収集整備に関する業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度福島県等における野生鳥獣の生息状況等に関する調査業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度福島県警戒区域内における被災ペット保護活動方針検討業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度動物愛護管理基本指針フォローアップ等検討調査業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度生態系への放射線影響ワークショップ開催委託業務	(財) 自然環境研究センター
平成23年度トキ野生復帰モニタリング調査等業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況緊急調査(青森県三沢市)	財団法人自然環境研究センター
平成23年度希少野生動物植物の国内流通管理検討調査等業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度絶滅のおそれのある野生動物種の選定・見直しのための調査等委託業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度絶滅危惧植物の種子収集・保存推進業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度福島県警戒区域内の被災ペットの保護及び飼育管理業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度希少な野生生物の保全政策点検委託業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(森林・草原調査)	財団法人自然環境研究センター
平成23年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(高山帯調査)	財団法人自然環境研究センター
平成23年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(沿岸域調査)	財団法人自然環境研究センター
平成23年度自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林調査に係る情報収集等業務	財団法人自然環境研究センター
平成23年度東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ業務(植物・鳥類に関する分類学能力構築等)	財団法人自然環境研究センター

措置請求書

平成24年1月11日

支出負担行為担当官
大臣官房会計課長 殿

請求者 自然環境局長
(公印省略)

下記のとおり請負方請求します。

記

請求の内容	価格	履行期限
平成23年度福島警戒区域の被災ペットの保護及び飼育管理業務	20,591,302円 (980,538円)	契約締結日～ 平成24年3月30日
請求理由	福島県警戒区域内における被災ペット対応について、今後の保護方針等を検討する検討会の開催、一斉保護活動の実施、保護した動物の飼育管理等に関する業務を行うものである。	
支出科目	予算事項コード 001 略科目コード 042962	

平成23年度福島県警戒区域内の被災ペットの保護及び飼育管理業務予定価格調書

経費区分		内訳		
直接費	予算額			
人件費	17,052,839	主任技師	16 人日 @ 45,500 = 728,000 専任強要使用	
		技師A	33 人日 @ 38,300 = 1,263,900	
		技師B	47 人日 @ 31,200 = 1,466,400	
		技師C	48 人日 @ 24,500 = 1,176,000	
		技術員	62 人日 @ 21,200 = 1,314,400	
		11,104,139		
	業務費	145,500	検封委員謝金 (大学准教授様, 8人)	8 人 @ 18,200 = 145,500 専任強要使用
			検封会旅費 (全国6-3級、日帰り, 8人)	8 人 @ 32,880 = 263,040 専任強要使用
	消耗品費	5,300,953	ペト保護活動旅費 (全国6-3級、6泊7日、10人×3回)	3,408,440 × 100/105 = 3,247,086 専任強要使用
			消毒器 (犬用)	10 個 @ 165,000 = 1,650,000 別紙1
消毒器 (猫用)			50 個 @ 8,460 = 423,000 別紙2	
捕獲機材 (ネットランチャー)			10 個 @ 35,000 = 350,000 別紙3	
捕獲機材 (ネットランチャー+カートリッジ)			140 個 @ 15,000 = 2,100,000 別紙3	
運搬用ケージ			10 個 @ 16,500 = 165,000 別紙4	
捕獲用旗			165,000 × 100/105 = 157,143	
防護服			50 個 @ 2,570 = 128,500 別紙5	
防護靴			128,500 × 100/105 = 122,381	
2,365,500			飼育管理従事者 (60日 × 3人)	200 個 @ 3,150 = 630,000 別紙6
資金	45,000	ペット保護活動従事者 (6人 × 7日 × 3回)	180 人日 @ 8,300 = 1,494,000 専任強要使用	
		業務報告書	105 人日 @ 8,300 = 871,500	
印刷製本費		5 部 @ 9,000 = 45,000 専任強要使用(50頁×5部)		
間接費				
一般管理費	2,557,925	直接費の15%以内	(17,052,838 × 0.15 = 2,557,925 以内)	
計	19,610,764			
消費税	980,538			
合計	20,591,302			

(人件費内訳)

	主任技師	技師A	技師B	技師C	技師員	資金
(1) 検討会の開催	4	6	6	4	8	
(2) 保護活動実施マニュアルの作成	4	4	4	5	9	
(3) 被災ペット保護活動体制の整備	2	4	4		10	
(4) 被災ペット保護活動の実施		15	30	15	15	105
(5) 保護動物の飼育管理	3			7		150
(6) 保護動物の譲渡の推進	1	2	3	10	10	
(7) 報告書の作成	2	2		7	10	
合計	16	33	47	48	62	255

措置請求書

平成24年月日

支出席担当官
大臣官房会計課長 殿

請求者 自然環境局長
(公印省略)

下記のとおり請負方請求します。

記

請求の内容	価格	履行期限
平成24年度福島警戒区域内の被災ペットの保護及び飼育管理業務	97,550,517円 (4,645,262円)	契約締結日～ 平成25年3月29日
請求理由	福島県警戒区域内における被災ペット対応について、一斉保護活動や生息状況調査を実施するとともに、臨時シェルターを設置し、保護した動物の飼育管理等に関する業務を行うものである。	
支出科目	(歳出年度)平成24年度 (項)環境保全復興政策費 (目)環境保全調査費 予算事項コード 021 略科目コード 163612	

平成24年度福島県養蚕区域内の被災ベットの保護及び飼育管理業務予定価格調書

経費区分		予算額		内 訳		単価	
直接費		85,057,738					
人件費		10,178,700					
	主任技師		7人日	◎	44,800	314,300	毎年恒用
	技師A		31人日	◎	37,800	1,174,800	
	技師B		129人日	◎	30,500	3,885,100	
	技師C		108人日	◎	24,000	2,592,000	
	技師員		102人日	◎	20,700	2,111,400	
業務費		74,919,038					
補助金		2,565,696					
	専門家打合せ・セミナー開催 (大学産科産婦8人×3回)		18人日	◎	18,200	327,600	毎年恒用
	養蚕区域内作業手当 (1日4時間以上の屋外作業で10,000円) (調査4人×5日×5回、保護活動9人×8日×3回)		235人日	◎	10,800	2,536,000	別紙5 人員保護費120(厚日 床)×100(厚日)×20 (厚日)×30(厚日) 別紙5(厚日)×10(厚日) 別紙5(厚日)×10(厚日)
	2,350,000 × 100/105 =					2,238,096	
旅費		5,545,881					
	専門家打合せ・セミナー開催 (全国2-1線、1泊2日、6人×8回)		18人日	◎	41,380	753,840	毎年恒用
	生息採卵出張費 (全国2-1線、6泊7日、4人×9回)		26人日	◎	88,380	1,787,600	毎年恒用
	ベット保護活動出張費 (全国6-3線、6泊7日、1人×3回)		3人日	◎	104,880	314,640	毎年恒用
	ベット保護活動出張費 (全国2-1線、6泊7日、8人×3回)		24人日	◎	88,380	2,145,120	毎年恒用
	臨時フェルター設置出張費 (全国2-1線、2泊3日、2人×8回)		6人日	◎	51,280	308,280	毎年恒用
	臨時フェルターの運営管理出張費 (全国2-1線、2泊3日、2人×5回)		10人日	◎	51,380	513,600	毎年恒用
	5,823,280 × 100/105 =					5,545,881	
消耗品費		6,432,041					
	捕獲器(犬用)		20個	◎	80,300	1,606,000	別紙1
	捕獲用網		50個	◎	2,570	128,500	別紙2
	防護服		235個	◎	3,150	740,250	別紙3
	飼育管理費(物品・薬品代等)		740,250 × 100/105 =			705,000	
	128,500 × 100/105 =		10ヵ月	◎	414,826	4,148,260	別紙4
	4,146,280 × 100/105 =					3,948,820	
	推車費(200両×3回)		600両	◎	9.5	5,760	毎年恒用
	燃料費(ガソリン)		380ℓ	◎	116	44,080	毎年恒用
燃料・燃料		2,048,200					
	シンカー (ワゴン、調査7日×5回×2台、保護活動7日×8回×3台)		133日・回	◎	15,400	2,048,200	毎年恒用
賃金		22,234,500					
	飼育管理従事者(1ヵ月22日×10ヵ月×12人)		2640人日	◎	8,100	21,384,000	毎年恒用
	ベット保護活動従事者(5人×7日×3回)		105人日	◎	8,100	850,500	
雑費		3,000,000					
	不法去勢装置		200頭	◎	5,000	1,000,000	別紙5(西農省見直し)
	内部報告用紙		200頭	◎	10,000	2,000,000	別紙5(西農省見直し)
印刷費		45,000					
	業務報告書		5部	◎	9,000	45,000	毎年恒用(調査員100名×5部×1ヵ月×2ヵ月)
外注費		88,047,620					
	仮設フェルター設置費		1式	◎	34,700,000	34,700,000	別紙5(西農省見直し)
	34,700,000 × 100/105 =					33,047,620	
間接費							
一般管理費		7,807,517					
	(経理費・外注費) × 1.05以内		22,050,118 × 0.15 =		7,807,517		以内)
計		92,905,255					
消費税		4,645,282					
合計		97,550,537					

(人件費内訳)

	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	賞金
(1)実施計画策定・全体統括	2	2	3	3		
(2)保護活動実施マニュアルの作成	2		5	3		
(3)被災ペット保護活動体制の整備	2	3	10	5		
(4)被災ペット保護活動の実施		21	21	21	21	105
(5)生息状況調査の実施			38	35	70	
(6)打合せ等の実施			9	9	4	
(7)臨時シeltersの設置	1	2	10	10		
(8)シeltersの運営管理・保護動物の飼育管理			14	10		2640
(9)保護動物の譲渡の推進		2	15	8	7	
(10)報告書の作成		1	4	4		
合計	7	31	129	108	102	2745

飯野シェルター	¥33,154,270
三春シェルター	¥34,286,614
計	¥67,440,884

○飯野シェルター (1年)

科目	概算予算	説明
1 使用料及び賃借料	¥1,800,000	
家賃借上料	¥1,800,000	施設家賃 (150,000*12月)
2 報償費	¥5,331,840	
人件費	¥5,040,000	人件費 (事務10,000*2人*21日*12月)
治療費	¥291,840	治療費 (72,960/6~9月飯野実績)
3 委託料	¥13,230,000	
委託料	¥13,230,000	管理委託料 (チーフ6,250*2人*21日*12月、平5,000*5人*21日*12月、獣医師15,000*21日*12月)
4 需用費	¥12,085,104	
光熱水費	¥840,000	電気代 (試算:70,000/月)
	¥71,934	ガス代 (11,989/7~8月飯野実績)
	¥360,000	水道代 (試算:30,000/月)
消耗品費	¥3,703,572	シェルターで使用する消耗品代 (617,262/7~8月飯野実績 *設備投資に係るものを除く)
食糧費	¥115,176	茶菓代 (19,196/7~8月飯野実績)
医薬材料費	¥6,994,422	医薬品代 (1,166,737/7~8月飯野実績)
5 役務費	¥707,326	
通信運搬費	¥120,000	電話代 (試算:10,000/月)
	¥111,816	データ通信料 (9,318/月)
	¥96,000	切手代 (試算:80*100通/月)
保険料	¥252,250	団体傷害保険料 (252,250/年)
手数料	¥127,260	振込手数料 (21,210/7~8月飯野実績)
計	¥33,154,270	

○三春シェルター (1年)

科目	概算予算	説明
1 使用料及び賃借料	¥5,040,000	
家賃借上料	¥5,040,000	施設家賃 (420,000*12月)
2 報償費	¥12,261,840	
人件費	¥11,970,000	人件費 (事務10,000*1人*21日*12月、チーフ6,250*2人*21日*12月、平5,000*5人*21日*12月)
治療費	¥291,840	治療費 (72,960/6~9月飯野実績)
3 委託料	¥4,231,080	
委託料	¥3,780,000	管理委託料 (獣医師15,000*21日*12月)
	¥104,580	高圧電気設備保守点検委託料 (8715*12月)
	¥346,500	機械整備委託料 (28875*12月)
4 需用費	¥12,085,104	
光熱水費	¥840,000	電気代 (試算:70,000/月)
	¥71,934	ガス代 (11,989/7~8月飯野実績) 5995/月
	¥360,000	水道代 (試算:30,000/月)
消耗品費	¥3,703,572	シェルターで使用する消耗品代 (617,262/7~8月飯野実績 *設備投資に係るものを除く)
食糧費	¥115,176	茶菓代 (19,196/7~8月飯野実績)
医薬材料費	¥6,994,422	医薬品代 (1,166,737/7~8月飯野実績)
5 役務費	¥668,590	
通信運搬費	¥120,000	電話代 (試算:10,000/月)
	¥73,080	データ通信料 (6,090/月)
	¥96,000	切手代 (試算:80*100通/月)
保険料	¥252,250	団体傷害保険料 (252,250/年)
手数料	¥127,260	振込手数料 (21,210/7~8月飯野実績)
計	¥34,286,614	

平成24年度福島県警戒区域内の被災ペットの保護及び飼育管理業務
経費内訳書

経費区分	金額	経費内訳	備考
I 直接費			
人件費	12,678,000	◎ 研究主幹 48,000 × 34人日 = 1,632,000 ◎ 主席研究員 41,000 × 65人日 = 2,665,000 ◎ 上席研究員 34,000 × 125人日 = 4,250,000 ◎ 主任研究員 27,000 × 91人日 = 2,457,000 ◎ 研究員 18,000 × 93人日 = 1,674,000	別添1のとおり
人件費 計	12,678,000		
II 業務費			
謝金	327,600	◎ 検討員謝金 18,200 × 18人日 = 327,600	別添2のとおり
旅費	4,254,400	◎ (1) 一斉保護活動 ◎ 主席研究員 99,920 × 4人回 = 399,680 ◎ 上席研究員 99,920 × 5人回 = 499,600 ◎ 主任研究員 95,520 × 6人回 = 573,120 ◎ 研究員 95,520 × 3人回 = 286,560 ◎ 協力自治体職員(遠方) 40,000 × 9人回 = 360,000 ◎ 協力自治体職員(近隣) 10,000 × 9人回 = 90,000 ◎ (2) 生息状況調査 ◎ 主席研究員 99,920 × 4人回 = 399,680 ◎ 上席研究員 99,920 × 5人回 = 499,600 ◎ 主任研究員 95,520 × 6人回 = 573,120 ◎ 研究員 95,520 × 5人回 = 477,600 ◎ (3) 臨時シエルトターの設置 ◎ 研究主幹 39,320 × 2人回 = 78,640 ◎ 上席研究員 37,720 × 2人回 = 75,440 ◎ (4) 臨時シエルトターの運営管理・保護飼育 ◎ 研究主幹 39,320 × 2人回 = 78,640 ◎ 上席研究員 37,720 × 2人回 = 75,440 ◎ 旅費 計 (4,467,120 × 100/105 = 4,254,400)	別添2のとおり
賃金	22,352,200	◎ (1) 飼育管理 ◎ 事務管理従事者 10,000 × 242人日 = 2,420,000 ◎ 飼育管理従事者 6,250 × 2,420人日 = 15,125,000 ◎ 獣医師 15,000 × 242人日 = 3,630,000 ◎ (2) 一斉保護 ◎ 協力自治体職員 65,400 × 18人日 = 1,177,200 ◎ (1) 餌代・薬品代等 210,000 × 11ヵ月 = 2,310,000 ◎ (2) わな 126,000 × 20個 = 2,520,000 ◎ (3) 防護服 3,150 × 400個 = 1,260,000 ◎ (4) 誘引餌 262,500 × 1式 = 262,500 ◎ 消耗品費 計 (6,352,500 × 100/105 = 6,050,000)	
消耗品費	6,050,000		
雑費	3,000,000	◎ (1) 不妊去勢処置 5,000 × 200頭 = 1,000,000 ◎ (2) 内部被ばく調査 10,000 × 200頭 = 2,000,000 ◎ レンタカー代 15,000 × 224台日 = 3,360,000 ◎ 印刷製本費一式 5,000 × 5部 = 25,000 ◎ 仮設シエルトター建設 34,700,000 × 1式 = 34,700,000 ◎ 外注費 計 (34,700,000 × 100/105 = 33,047,620)	
賃借料	3,360,000		
印刷製本費	25,000		
外注費	33,047,620		
業務費 計	72,416,820		
小 計	85,094,820		
一般管理費	7,805,180	((人件費+業務費) - 外注費) × 15%以内	7,807,080 以内
合計	92,900,000		
消費税及び地方消費税	4,645,000	合計×5/100	
総 計	97,545,000		

◎福島県警戒区域内における被災ペットの保護活動への職員派遣について

自治体名	川崎市		
派遣期間 (派遣可能な回に ○を記入下さい)	1回目(2/29~3/6)	2回目(3/7~3/13)	3回目(3/14~3/20)
	○		

職員名	氏名	連絡先 (派遣期間中に連絡が取れる番号)	
		中條 篤	
鈴木 香奈子		██████████	██████████

車両の有無	車種	色	ナンバー	乗車可能人数

機材等の有無	犬用	台数	猫用	台数

◎福島県警戒区域内における被災ペットの保護活動への職員派遣について

自治体名			
派遣期間 (派遣可能な回に ○を記入下さい)	1回目(2/29~3/6)	2回目(3/7~3/13)	3回目(3/14~3/20)
		○	

職員名	氏名	連絡先 (派遣期間中に連絡が取れる番号)
	土肥 光夫(ドヒ ミツオ)	■■■■■■■■■■
	才田 武志(サイタ タケシ)	■■■■■■■■■■

車両の有無	車種	色	ナンバー	乗車可能人数
	ハイエース(捕獲車)	白	横浜800す1970	6人

機材等の有無	犬用	台数	猫用	台数
	捕獲器	1台		

◎福島県警戒区域内における被災ベットの保護活動への職員派遣について

自治体名	神奈川県		
派遣期間 (派遣可能な日に ○をご記入下さい)	1回目(2/29~3/6)	2回目(3/7~3/13)	3回目(3/14~3/20)
			○

職員名	氏名	連絡先 (派遣期間中に連絡が取れる番号)
	小菅 教仁	045-210-4947※
	西村 直子	
	佐々木 浩	
	鈴木 清	

車両の有無 無	車種	色	ナンバー	乗車可能人数

機材等の有無 無	犬用	台数	猫用	台数

※ 調整の段階では、神奈川県保健福祉局生活衛生部食品衛生課にご連絡ください。
現地での車両の運転はできないことをご了承ください。

○保護収容動物報告票(3/1~3/19)

日付: 平成24年 3月 2日

担当公所:

担当者:

日付	相双保健所管理番号	保健番号	備考	種別	毛色	性別	その他	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)	検出濃度 (ppm)
3月1日	2012-03-0100	大熊町大字夫沢	(種No.)	犬	柴系雑	黒茶	黄色首輪、左勢、麗札	2000	425	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月2日		小高区上町2-36-1サウス	A-1054	犬	雑種	茶		260	439	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月2日		浪江町大字東平本集(ツクシ江橋渡草野)	A-1007	犬	雑種	茶	短版中、茶草首輪(青色飾り)	200	440	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月2日		浪江町権現堂字北深町5 浪江小学校(17)	A-1010(10)	犬	雑種	白茶	首輪なし、短版中、皮膚病・左眼白濁	250	441	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月3日		小高区仲町一丁目(小高町商工会)	A-1038	犬	雑	茶	首輪なし(保護後)、黒首輪	200	442	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月5日		浪江町大字酒田		犬	柴系雑	茶		150	443	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月8日	2012-03-0006	浪江町大字権現堂字北深(浪江小学校)	相双HC捕獲箱	犬	雑種	薄茶	皮膚病、首輪無	220	444	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月9日	2012-03-0010	大熊町大字下野上字(大野小学校)	C-1068	犬	雑種	茶		430	445	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月8日	2012-03-0004	原町区上太田		犬	雑	黒白	首輪なし		446	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月10日	2012-03-0012	大熊町大字下野上	C-1061	犬	雑種	黒	首輪なし、左臀部が皮膚病	230	448	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月16日	201-03-0013	笠岡町大字上郡山清水	D1052	犬	雑	薄茶	水色、ムソ	250	449	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月17日	2012-03-0015	植葉町大字井出字木屋(巻田駅周辺)	F-1003(1003)	犬	雑	茶	アボリ一色、取の、水	170	451	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

日付	相次係的管理番号	保護場所	備考	番	番	品	白	性別	その他	重量 (g)	年齢 (月)	① (127)	② (127)	③ (127)
3月18日	植葉町字町尻	E-1054(1035)	キジク	雑	雑	雑	雑	♀		200	248	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	植葉町字広畑	E-58(10)	雑	雑	黒・白	雑	雑	♀	腹白・ハチワレ(顔)	250	249	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	植葉町字小端	E-56(58)	雑	雑	白	雑	♀			220	260	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	植葉町字一升平	E-59(52)	雑	雑	サシク	灰	♀			320	251	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	植葉町字坂下	E-54(133)	雑	雑	キジク	茶・白			腹白	230	252	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	植葉町字町尻	E-52(80)	雑	雑	雑	灰				280	253	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月19日	富岡町大字本岡	D-40(136)	雑	雑	雑	白・雑	♀		タテボシ(顔)	250	264	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	富岡町大字本岡大原ノイ特	D-31(12)	雑	雑	雑	黒				250	265	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	植葉町字上ノ原	E-7(15)	雑	雑	フキク	キジク・白			腹白	150	266	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3月18日	富岡町字町尻	D-64(128)	雑	雑	雑	白	♀		赤首輪・鈴付	180	257	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

原HPに首輪の写真有り

3/28 出産1頭

4/8 出産

3/20 出産2頭

(別添様式)

平成24年3月26日

復興庁統括官付参事官 殿

所在地 東京都台東区
商号又は名称 財団法人自
代表者氏名 理事長



平成24年度福島県警戒区域内の被災ペットの保護及び飼育管理業務に係る企画書等の提出について

標記の件について、次のとおり提出します。

- 1 企画書
- 2 経費内訳書
- 3 会社概要等

(担当者)	:	企画開発部
所属部署	:	[Redacted]
氏名	:	[Redacted]
TEL/FAX	:	03-5824-0965 / 03-5824-0956
E-mail	:	[Redacted]

平成24年度
福島県警戒区域内の被災ペットの保護
及び飼育管理業務

復興庁
環境省

企画書
経費内訳書

平成24年3月



財団法人 自然環境研究センター

1 業務の基本方針

福島第一原子力発電所警戒区域内では、これまでに東境省が福島県に協力するとともに、他の自治体職員や獣医師等の協力を得ながら、取り残された犬猫の保護活動を実施し、福島県のシェルター（動物収容施設）において飼育管理し、飼い主への返還、新しい飼い主への譲渡を進めています。これまでに約1,000頭の犬及び猫を保護していますが、依然として保護が必要な状況であると同時に、繁殖により第2世代の増加、また放浪犬猫の野生化等の影響により、今後、帰宅する住民の生活環境が悪化するおそれがあることから、さらなる保護活動の実施が必要と考えられます。また、保護した動物の飼育管理するための臨時シェルターの設置と管理体制、飼い主不明または所有権放棄された被災ペットの譲渡の促進が急務となっています。本業務では、警戒区域内において被災ペットの保護を行うとともに、保護した被災ペットの飼育管理及び被災ペットの譲渡を促進するために必要な不妊去勢措置を実施することを目的としています。

当センターは、本業務を実施するうえで、以下6項目を要点と認識し、業務に取り組みます。

(1) 一斉保護活動の実施

警戒区域内における被災ペットの保護活動に係る実施マニュアルの作成と、保護活動を行うための捕獲体制を関係団体と調整し、8月末まで一斉保護活動を実施します。

(2) 生息状況調査の実施

警戒区域内における犬猫等の生息状況を把握することを目的としたモニタリング調査を年5回程度実施します。

(3) 関係者打合せまたは有識者ヒアリングの実施

専門家や自治体職員が集まる関係者打合せを都内で3回程度開催し、今後の保護方針の見直しの必要性、シェルターの終期設定、飼い主への返還支援、効果的な譲渡活動な方法等について検討します。

(4) 臨時シェルターの設置

福島県が運営する三春シェルターの敷地内に犬猫を最大200頭程度収容できるゾレハブ式の臨時シェルターを設置します。また、シェルターでの飼育管理に必要な備品の整備、保護動物の健康を維持するために必要な環境整備を行います。

(5) 臨時シェルターの運営管理及び保護動物の飼育・健康管理の実施

臨時シェルターの運営管理を行うため、事務管理1名、飼育従事者10名、獣医師1名を配置します。

(6) 飼い主不明または所有権放棄された被災ペットの譲渡の推進

被災ペットの譲渡を推進するため、内部被ばく調査の実施、不妊去勢措置の実施、譲渡を進めるための全国的な広報活動を行います。

2. 業務の実施方法

提案1 これまでの行政等による犬及び猫の保護活動の改善点

[Redacted text block]

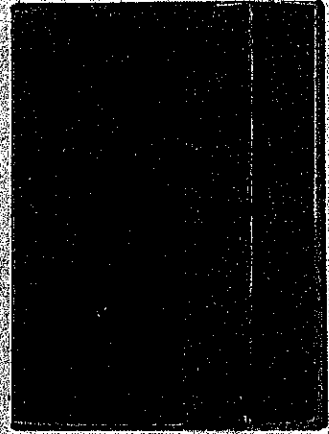
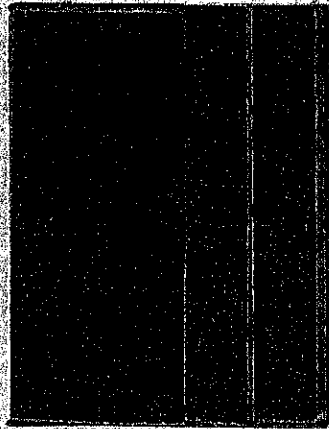
1. これまでの保護活動での課題

[Redacted text block]

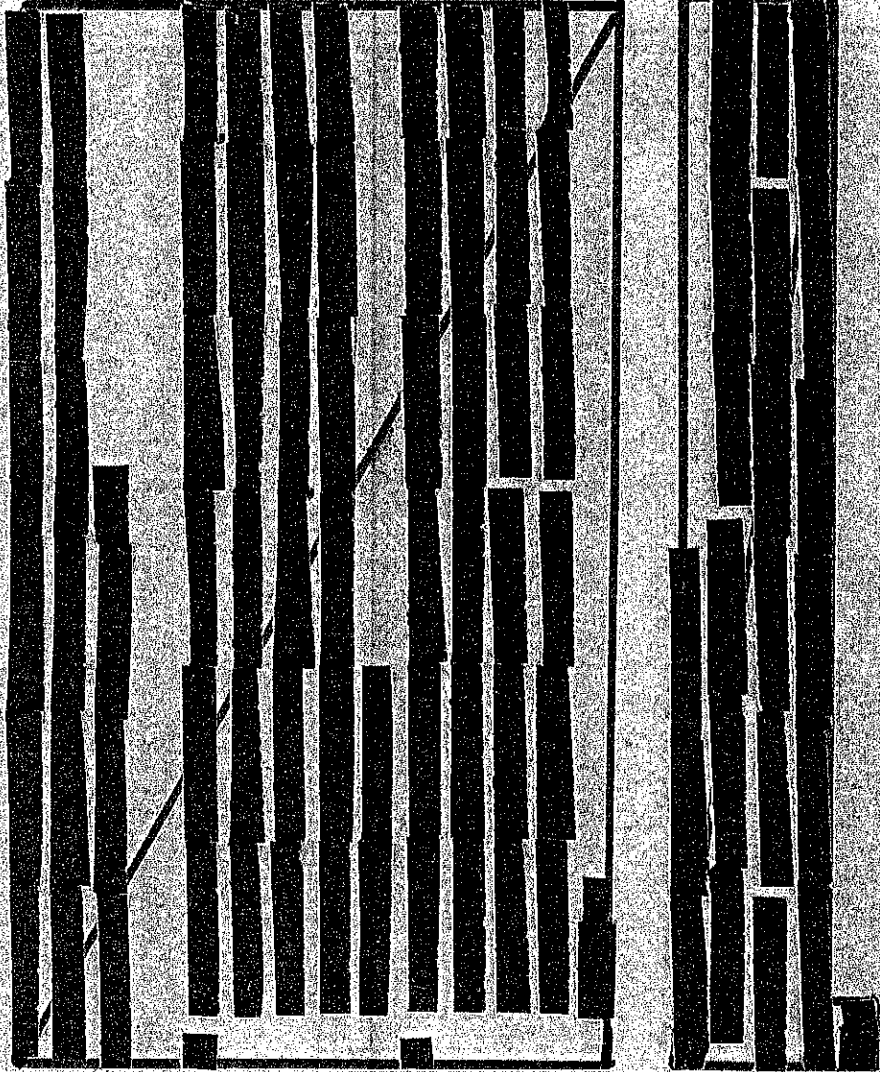
2. 捕獲手法の改善点

(1) 猫の捕獲手法

[Redacted text block]



(2) 大の捕獲手法



3. 実施体制

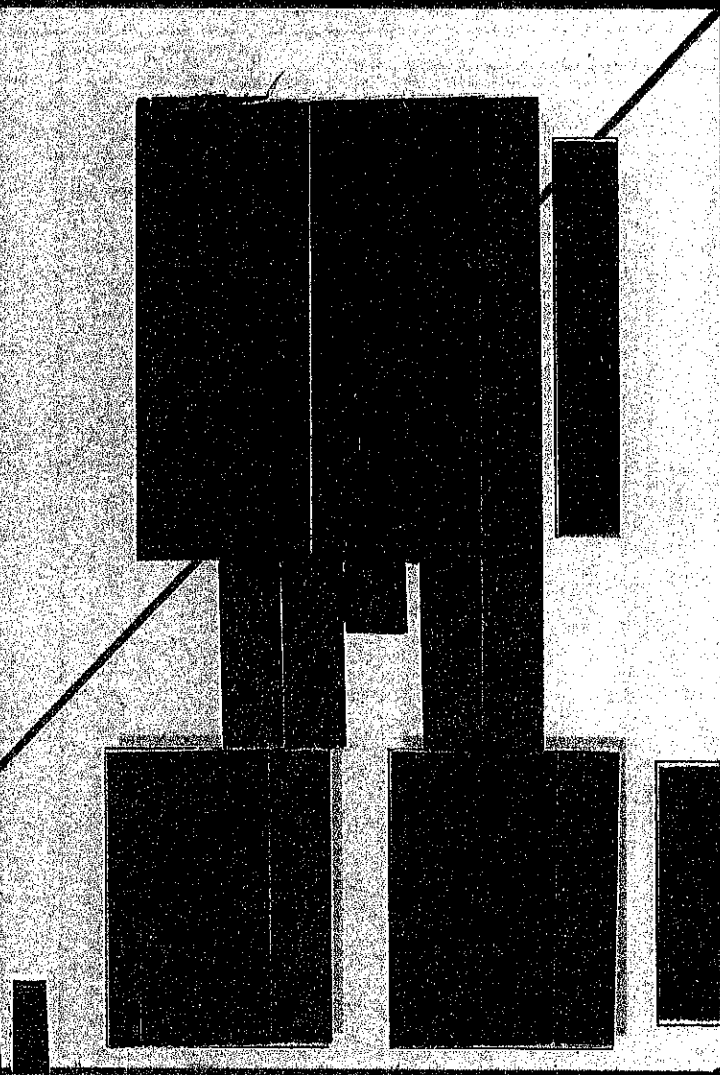


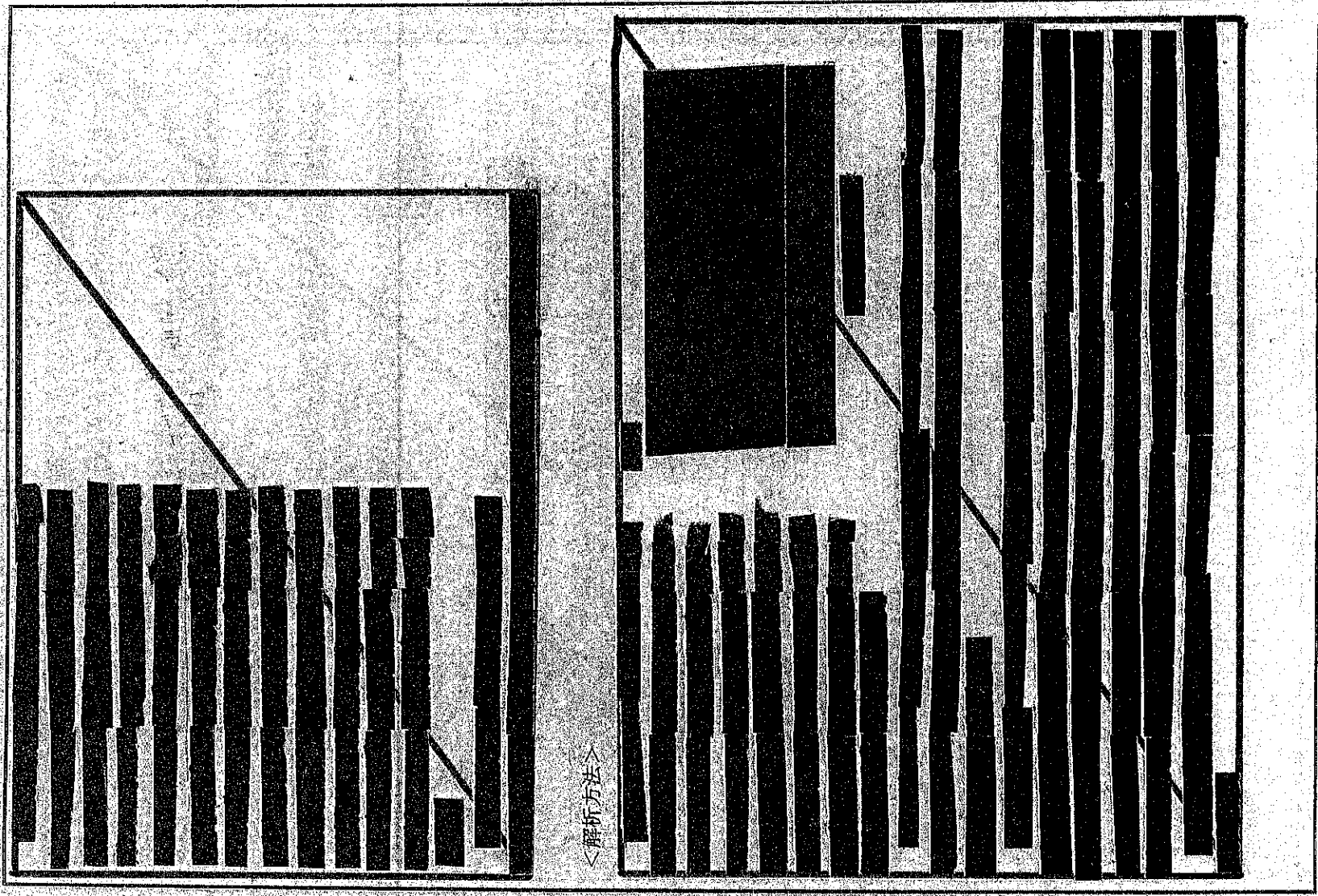
提案2 一斉保護活動後の生息状況把握調査及び解析方法

[Redacted text block]

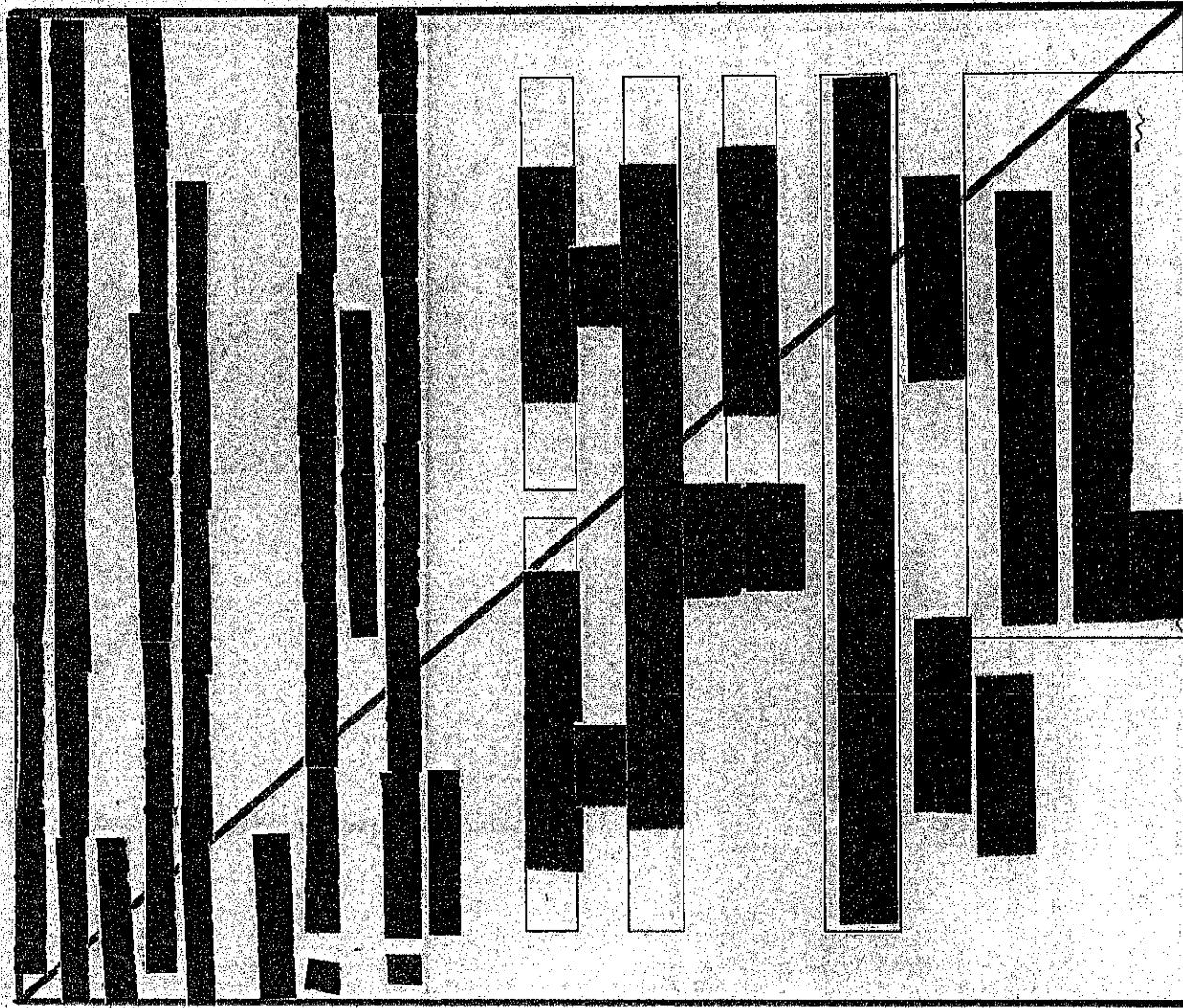
<生息状況把握調査手法>

[Redacted text block]



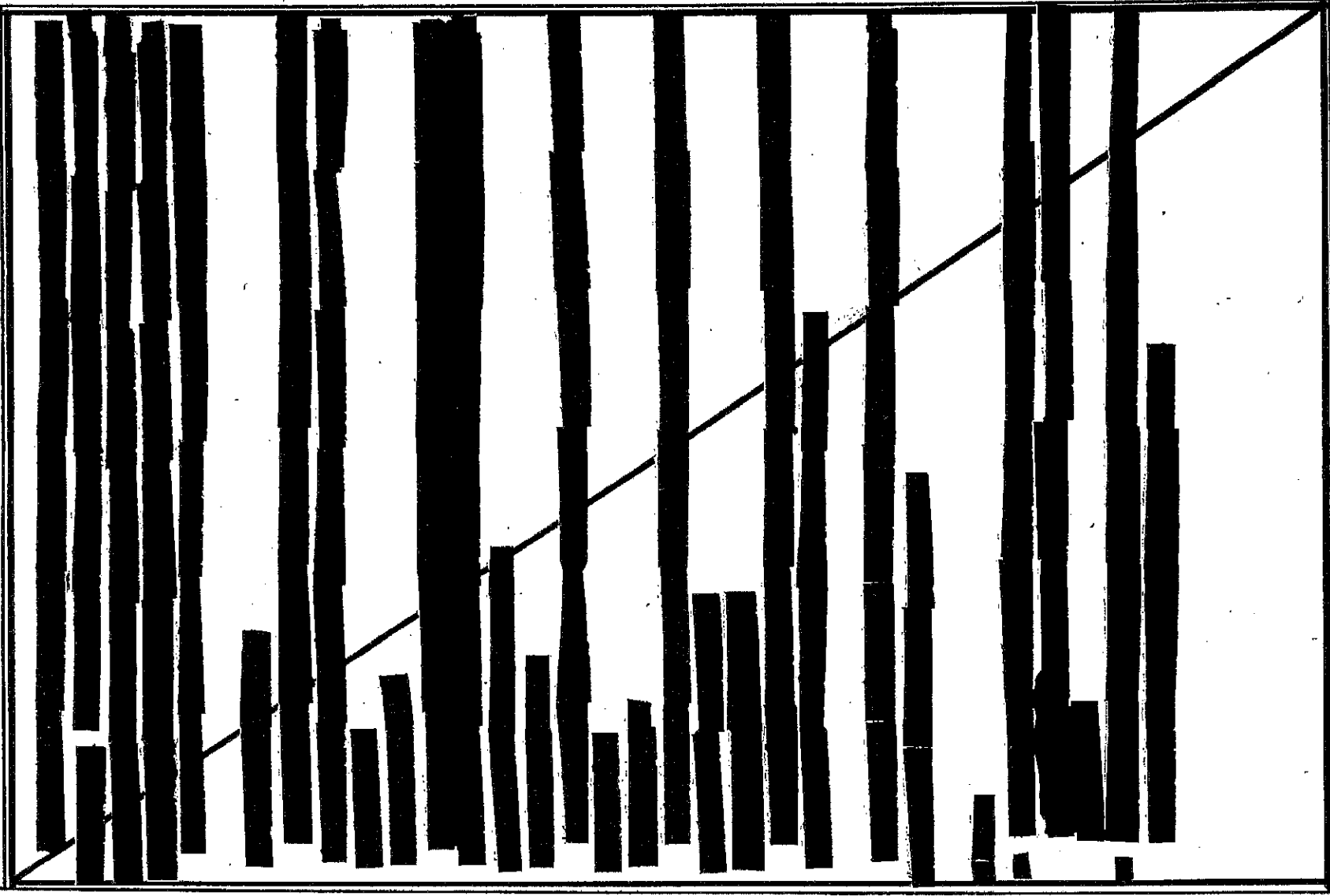


提案3 検討会における議題及び議題のとりまとめの方向性

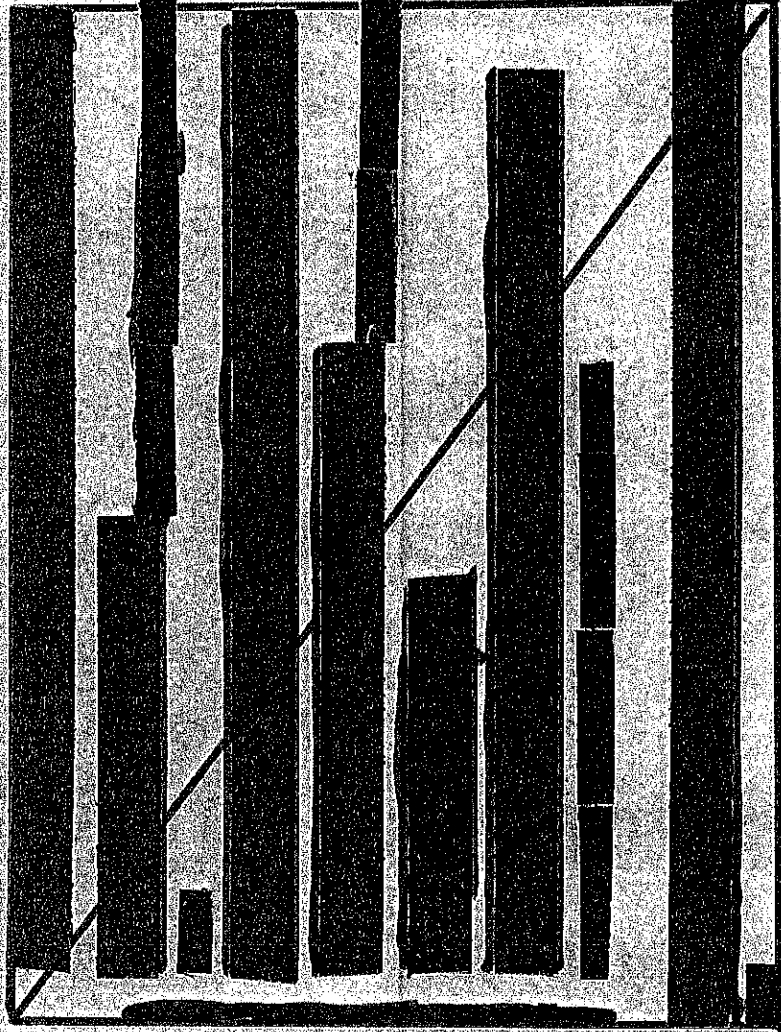




提案4 保護動物の譲渡を推進するための効果的な方法

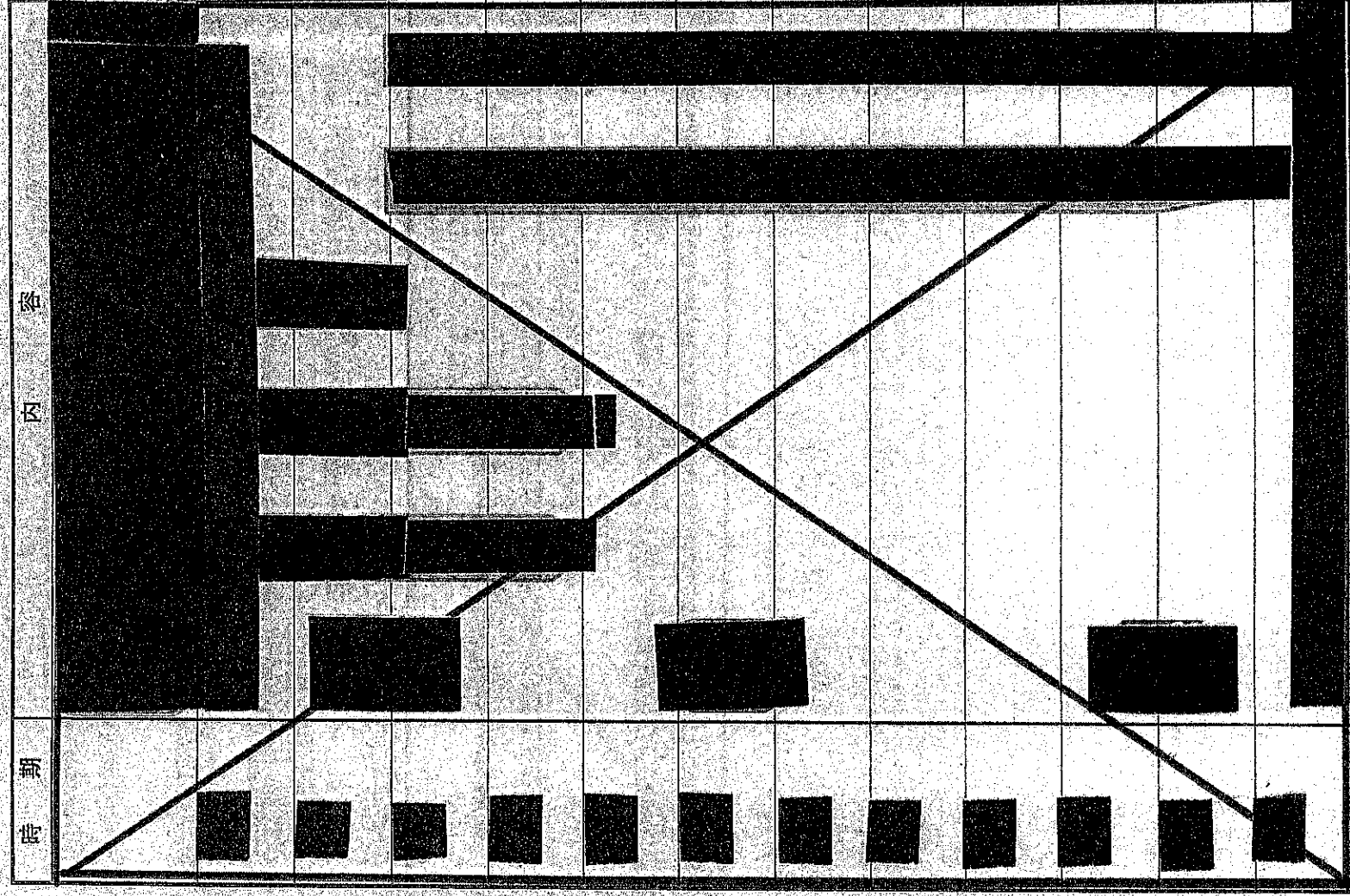


< 調査方法の改善点 >



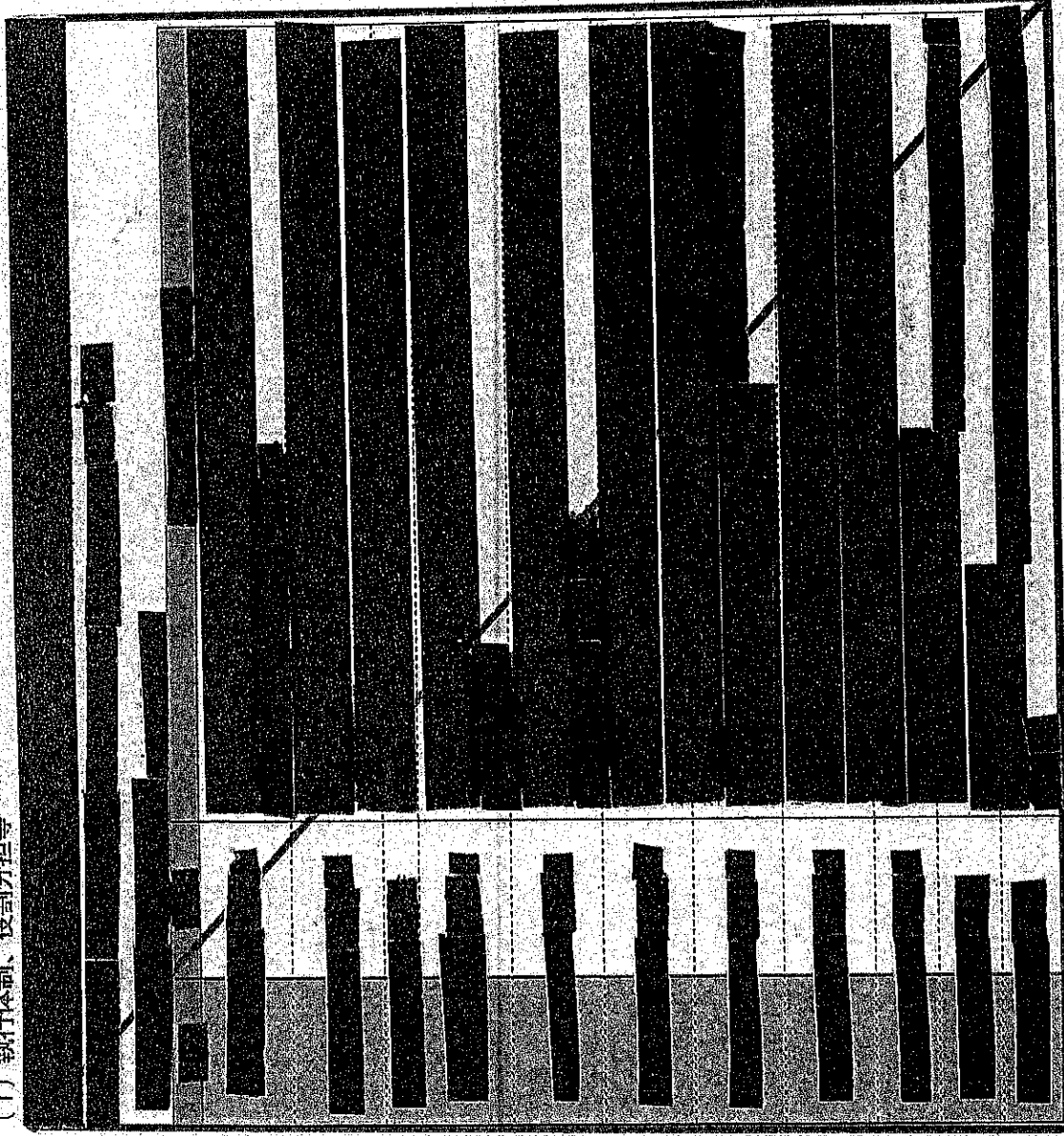
(別紙様式C)

3. 業務の実施計画

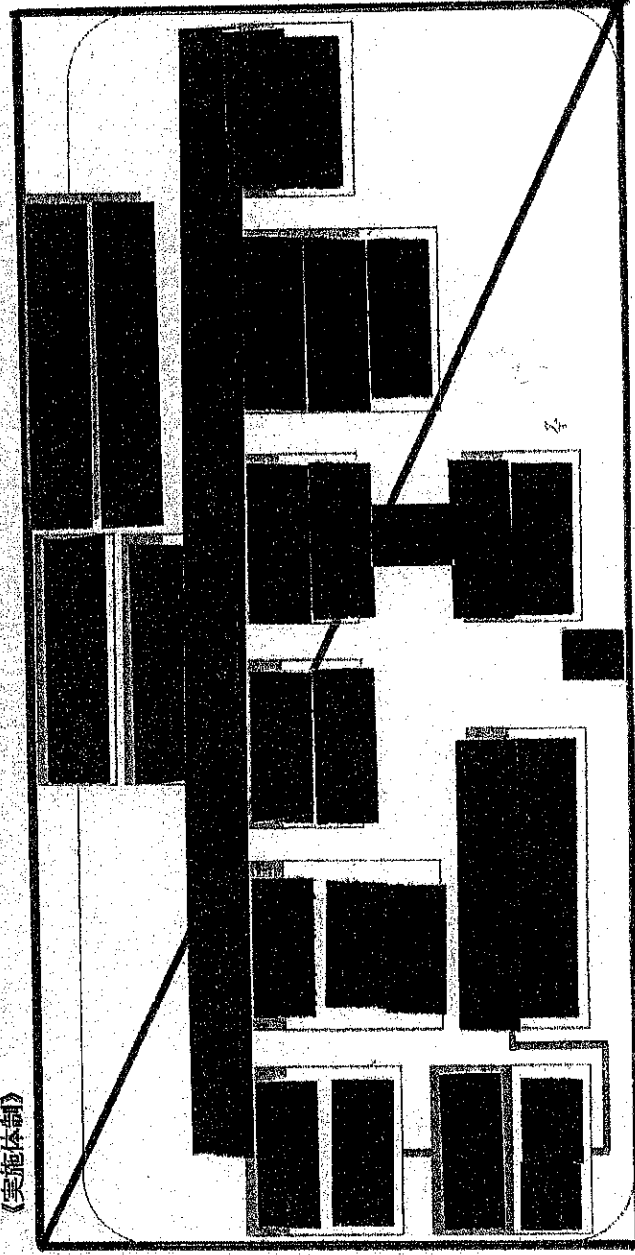


4 業務実施体制（業務従事者の配置、役割分担）

(1) 執行体制、役割分担等



《実施体制》



(2) 本業務に従事する主たる担当者

氏名	[Redacted]		
所属・役職	[Redacted]	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数)	[Redacted]
専門分野	[Redacted]		
所有資格	[Redacted]		
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要		
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要		
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要		
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

主な手持ち業務の状況	発注機関	業務内容	履行期間
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

(3) 本業務に従事する主たる従事者以外の担当者

氏名	[Redacted]	
所属・役職	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数)	[Redacted]
専門分野	[Redacted]	
所有資格	[Redacted]	
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]	
類似業務 (動物の行動及び生態に関する調査研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関
	業務名	発注機関
	業務名	発注機関
類似業務 (動物の行動及び生態に関する調査研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関
	業務名	発注機関
	業務名	発注機関
類似業務 (動物の行動及び生態に関する調査研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関
	業務名	発注機関
	業務名	発注機関

氏名	[Redacted]		
所属・役職	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数) [Redacted]		
専門分野	[Redacted]		
所有資格	[Redacted]		
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
○業務の概要	[Redacted]		
	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
○業務の概要	[Redacted]		
	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
○業務の概要	[Redacted]		
	[Redacted]		

氏名	[Redacted]	
所属・役職	[Redacted]	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数) [Redacted]
専門分野	[Redacted]	
所有資格	[Redacted]	
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]	
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	履行期間
	○業務の概要	[Redacted]
	発注機関	[Redacted]
	履行期間	[Redacted]
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	履行期間
	○業務の概要	[Redacted]
	発注機関	[Redacted]
	履行期間	[Redacted]
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	履行期間
	○業務の概要	[Redacted]
	発注機関	[Redacted]
	履行期間	[Redacted]
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	履行期間
	○業務の概要	[Redacted]
	発注機関	[Redacted]
	履行期間	[Redacted]

氏名	[Redacted]		
所属・役職	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数) [Redacted]		
専門分野	[Redacted]		
所有資格	[Redacted]		
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要 [Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要 [Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要 [Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要 [Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要 [Redacted]		

類似業務
(動物の行動
及び生態に
関する調査
研究事業)の
実績概要

氏名	[Redacted]		
所属・役職	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数) [Redacted]		
専門分野	[Redacted]		
所有資格	[Redacted]		
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要	[Redacted]	
	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要	[Redacted]	
業務名	発注機関	履行期間	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
○業務の概要	[Redacted]		
業務名	発注機関	履行期間	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
○業務の概要	[Redacted]		

氏名	[Redacted]	
所属・役職	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数)	[Redacted]
専門分野	[Redacted]	
所有資格	[Redacted]	
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]	
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要	[Redacted]
	業務名	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要	[Redacted]
業務名	履行期間	
[Redacted]	[Redacted]	
○業務の概要	[Redacted]	
業務名	履行期間	
[Redacted]	[Redacted]	
○業務の概要	[Redacted]	

氏名	[Redacted]		
所属・役職	[Redacted]	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数)	[Redacted]
専門分野	[Redacted]		
所有資格	[Redacted]		
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要	[Redacted]	[Redacted]
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要	[Redacted]	[Redacted]
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要	[Redacted]	[Redacted]

氏名	[Redacted]		
所属・役職	[Redacted]	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数)	[Redacted]
専門分野	[Redacted]		
所有資格	[Redacted]		
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要		
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

氏	[Redacted]		
所 属・役 職	[Redacted]	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数)	[Redacted]
専 門 分 野	[Redacted]		
所 有 資 格	[Redacted]		
経 歴 (職 歴/学 位)	[Redacted]		
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究専業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要		
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究専業)の 実績概要	業務名	発注機関	履行期間
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	○業務の概要		
	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

氏名	[Redacted]		
所属・役職	経験年数(うち本業務の類似業務従事年数) [Redacted]		
専門分野	[Redacted]		
所有資格	[Redacted]		
経歴 (職歴/学位)	[Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
類似業務 (動物の行動 及び生態に 関する調査 研究事業)の 実績概要	○業務の概要 [Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
	○業務の概要 [Redacted]		
	業務名	発注機関	履行期間
○業務の概要 [Redacted]			

5 組織の実績

業務名		
発注機関 (名称、住所)		
(受託企業名)		
(受託形態)		
履行期間		
業務の概要		
技術的特徴		
主たる担当者 の従事の有無		

業 務 名	発 注 機 関 (名 称、住 所)	(受託企業名)	(受託形態)	履 行 期 間	業 務 の 概 要	技 術 的 特 徴	主たる担当者 の職掌の概要
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

業 務 名	発 注 機 関 (名称、住所)	(受託企業名)	(受託形態)	履 行 期 間	業 務 の 概 要	技 術 的 特 徴	主たる担当者 の従事の有無
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

業 務 名	
発 注 機 関 (名称、住所)	
(受託企業名)	
(受託形態)	
履 行 期 間	
業務の概要	
技術的特徴	
主たる担当者 の従事の有無	

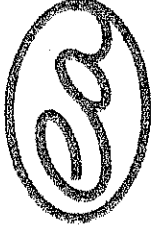
6 相模の環境マネジメントシステム認証取得状況

認証の有無： 有

認証の期間： 2011年4月8日～2013年4月7日

認証の名称： エコアクション21

ICES



エコアクション21

エコアクション21

認証・登録証

認証・登録番号 0006870

認証・登録事業者 財団法人自然環境研究センター 本部
東京都台東区下谷3-10-10

事業活動 野生動物を中心とした自然環境の調査・研究

対象事業所 本部

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2009年版」(環境省)の要求事項に適合していることを証します

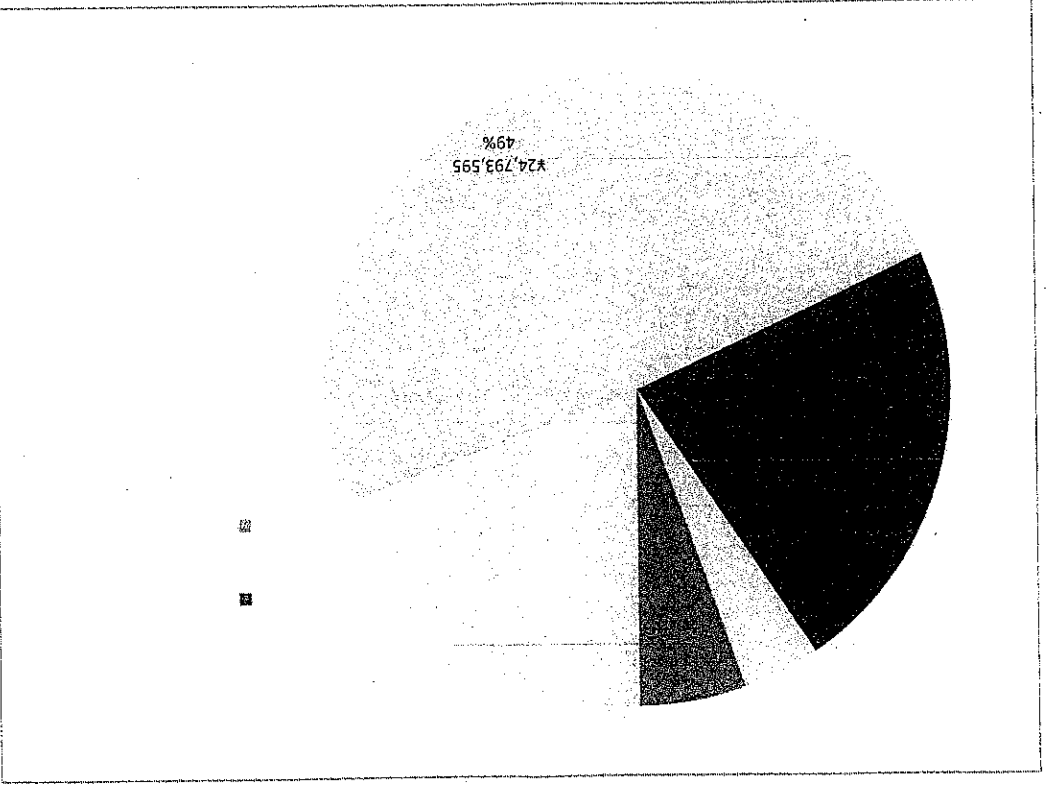
認証・登録日 2011年4月8日

有効期限 2013年4月7日

財団法人 地球環境戦略研
理事長 浜中 裕

総処分	¥9,917,568
セブタ管理運営費	¥24,793,585
フット健康衛生	¥2,012,832
雑費	¥2,772,906
合計	¥50,957,618

19%	¥9,917,568
49%	¥24,793,585
23%	¥11,460,719
4%	¥2,012,832
5%	¥2,772,906



11.22年度
 平成24年度の平均給与
 平均給与 (平均) 21.5万円
 (相対的に平均給与)

黄色：殺処分に関わる経費 (9,817,566 円)、緑：譲渡・啓発の経費 (2,772,906 円)、
青：嘱託非常勤人件費 (10,460,719 円)、白：センター管理・運営費 (24,793,595 円)
ピンク：フード・健康衛生 (2,012,832 円)
合計 50,857,618 円 (A)

円グラフから、命を助ける「譲渡・啓発の経費」に比べ、「センター施設の管理・運営費」
「人件費」「殺処分のための経費」が膨大であることが明らかとなっています。

*センター勤務の行政獣医師を含む県職員 (20 人前後) の人件費は、それとは別に県から
支給されており、年間 153,957,646 円 (B) にのびります (開示請求文書より)。

*犬猫等の保護収容及び飼養管理業務等の委託業者への委託料＝人件費・車両のガソリン
代、犬舎の消毒液含む＝は、16,170,000 円 (C) です。

センター業務の総経費は 1 年間で 220,985,264 円 (A+B+C) となります。

2 億円を超える経費がセンター業務に投じられている。そして、そのうち譲渡や啓発など命
を助ける事業には、わずか 270 万円ほどが充てられるだけ。さらに、収容された 7549 匹は
殺処分され、わずか 984 匹しか譲渡されない。しかもこの譲渡された犬猫の大半は、セン
ターに収容される前にセンター敷地で回収車を待ち構えるボランティアらにより譲渡のた
めに引き出されたものたちであって、センター業務としては「回収」のみの関わりであり、
センターの経費はほとんどかかっていない。こうした現実を、県民の私たちははじめて
かっていたでしょうか。

殺処分から譲渡への転換を図るためにも、この支出の内訳は、しっかりと私たちが把握
しておかねばなりません。

*そもそも、収容された犬猫に罪はなく、捨てた (繁殖させた) 人間が悪いのです。「生か
す」より「殺す」ことに重点が置かれ、抜本的な原因究明や対策は二の次にされ、安易な
「ガス」での処分が平然と行われている。これを問題にしなければなりません。

*せめて、殺すなら人道的な処置を行うのが私たち人間の務めではないでしょうか。

3. 4 について

*ある動物指導センターで、正月の休み中、怪我をして衰弱し切った猫が治療をされてい
ました。正月明けにはガスで処分されてしまうのに、1 週間、無駄に痛い思いをして治療
を受けていました。従業員は「こうなれば安楽死をしてやって」と頼んだけれど、行政獣
医師は「1 週間生かすのが規則だから」と言ったそうです。

*獣医師としての現場の判断しか、口のきけぬ動物たちを苦痛から解放するものはないの
です。

*獣医師の判断で速やかに安楽死をしてやれることを周知してください。